

## 【主な出来事】

●野党は内閣不信任案を議会に提出。同案は審議の結果過半数の賛成が得られず否決され、議会春・夏会期そのまま閉会となった。

●政府は、EUとの1億ユーロの借款協定に署名した。

## 1. 内政

### 内閣不信任案を巡る動き

#### ▼内閣不信任案の提出

・16日、「尊厳と真実」党(DA)及び「行動と連帯」党(PAS)はキク内閣に対する内閣不信任案を議会に提出した。同不信任案にはDA及びPASなどの26人の議員が署名した。

・不信任案の提案理由説明として、スルサリDA議員は、憲法裁判所に違憲判決を受けたロシアとの2億ユーロの融資取決めの例などを示しつつ、キク内閣は議会の立法権を無視して法律を採択するなどの違憲行為を行ったとし、また、新型コロナウイルス対策や経済対策への政府のマネジメントは最悪であり、政府が採った措置はビジネスマンや市民に何ら助けにならなかったとし、多くの経済セクターは倒産の危機に瀕している旨述べた。更に、外交政策について、EUや近隣諸国との戦略的パートナーシップを無視してCIS諸国やEAEUとの協力を軸足を移すなど、外交の一貫性に欠けた対応を取っているとした。

#### ▼内閣不信任案の否決

・20日、議会本会議において「尊厳と真実」党(DA)及び「行動と連帯」党(PAS)議員が議会に提出した内閣不信任案について審議が行われた。議会本会議は通常木曜日に開催されているが、急遽週明け直後月曜日の本会議開催、審議が決まった。

・本会議冒頭キク首相より政府の活動報告が行われ、その後各党の代表質問が行われた。時折野党議員による野次で審議が中断されつつも約5時間かけて審議は終了、内閣不信任案は投票に付され、賛成46票で否決された。

### 政 府

#### ▼ロシアとの融資取決め再交渉を承認

・31日、政府は、ロシアからの2億ユーロの融資にかかる政府間の再交渉を開始することを承認した。

### 議 会

#### ▼春・夏会期終了

・20日、議会の春・夏会期が終了した。秋・冬会期は9月再開の予定。

### 新型コロナウイルス関連

#### ▼新型コロナウイルス感染者、約2.5万人

・7月末時点で新型コロナウイルスの感染者は24,773人、死者は778人となった。

### その他

#### ▼退役軍人によるデモ

・16日、キシニョフ市内中心部において、退役軍人らが政府の支援が不十分なことを不満として抗議活動を行った。デモ隊は市内中心の大通りを一時封鎖した。

#### ▼農民によるデモ

・27日、カウシェニ及びシュテファン・ボーダの農民らが干ばつなどへの政府の対策に不満を示して抗議活動を行い、キシニョとカウシェニを結ぶ幹線道路を一時封鎖した。

・キク首相は、農民への支援として3億レイの補助金を手当することを検討している旨述べた。

・DAは、干ばつなどによって壊滅的な被害を受けた農業への対応を審議するために議会の臨時会を開催することを求めるとした。

## 2. 外政

### ▼キク首相、EAEU政府間協議出席

・16日～17日、キク首相は、ユーラシア経済連合(EAEU)政府間協議に出席するためベラルーシを訪問した。

・17日、キク首相は、ゴロフチェンコ・ベラルーシ首相と会談し、モルドバの対ベラルーシ輸出の拡大、ベラルーシ企業のモルドバ国内の道路インフラ事業への参画、トロリーバスの組み立て、ワイン事業への投資、家畜産業、医薬品産業等の経済問題について意見交換を行った。

・同日、キク首相は、EAEU会合のマーギンでミシュスチン露首相と会談し、ロシアからの2億ユーロの融資にかかる協議再開の可能性や二国間の貿易問題等について議論した。また、キク首相は、マミン・カザフスタン首相と会談し、経済協力に関する政府間協議の活性化などについて話合った。

### ▼新駐米大使の着任

・21日、新しい駐米大使として赴任したカラス前大統領補佐官が、トランプ米大統領に信任状を捧呈した。

## 3. 経済

### ▼コロナ危機のビジネスへの影響に関する世銀調査

・13日、世銀は、コロナ危機の民間セクターへの影響に関し、調査結果を発表した。それによれば、1) ロックダウン

ンのため、ビジネスの 20%近くが休業。2) 年間売上げは前年同期比-5%、小規模製造業への影響が大。3) 雇用はわずかに悪化。13%の企業が人員削減、労働者の20%が何らかの影響を受けた。4) 売上げ減少の影響は継続する見込みで、企業の45%以上で支払い遅延が発生、20%で法人税の支払い遅延が発生する見込み。5) オンラインビジネス、デリバリーの拡大等、企業活動は状況に適応。6) 政府の支援を受けた／受ける見込みの企業は3%にとどまり、23%は支援策をそもそも知らないなど、保障措置の拡大が必要。7) 回復期の企業支援には、税負担・準財務負担の軽減、貿易障壁の撤廃、新たなローンの創設、信用助成の強化等、より効果的な政策が必要。8) 企業景況感は前向きな見通し。モルドバ企業は、6ヶ月以内に以前のビジネスレベルに回復すると予想しており、雇用は45日以内、販売は6ヶ月以内に回復すると予想。

#### ▼モルドバ人海外労働者の実態に関するIOM報告

・22日、国際移住機関(IOM)が発表した調査によれば、モルドバ人海外労働者の50%以上が無期雇用契約、15%が短期契約、8%がサービス契約で働き、9%は契約なしで働いている。非正規雇用者数はスペイン、伊で最多。

・モルドバ人海外労働者の就業分野は、建設業(20%)、介護(15%)、ホテル・飲食業(11%)、商業(10%未満)、軽工業(6%)、その他公的機関、教育、研究、IT、金融等(20%)、美容、清掃、農業等(5%)。

#### ▼経済自由特区における雇用、対前年比14.5%増

・23日、経済省の発表によれば、2019年、経済自由特区では18180人が雇用され、前年比14.5%増。平均給与は7560レイ(0.7%増)、財・サービスの生産額は117億レイ(93.5%が工業製品)で、絶縁電線、ワイヤーハーネス、自動車用電線、絨毯、合成繊維、家具、ワイン等を生産。

#### ▼IMFと新経済対策プログラムに実務レベルで合意

・28日、IMF代表団と政府は、コロナ危機後の回復と、外国投資促進を狙い、新たな経済対策プログラム(3年、558百万米ドル)に実務レベルで合意。

・右合意は、9月のIMF理事会で承認される必要があるが、それに先立ち、政府が中央銀行の独立、財務部門監査、税制の透明化、汚職防止、法の支配等に関し措置をとることを求めている。

・IMFは、モルドバのGDPに関し、2020年は-4.5%、21年は+4%の成長(インフレ率5%維持)を見込んでいる。

#### ▼ウンゲニ＝キシニョフ間のガスパイプライン最終試験

・30日、トランスガス社は、ウンゲニ＝キシニョフ・ガスパイプラインの最終技術試験を行っている」と発表。同試験には数日を要し、終了後、運用が開始される見通し。

#### ▼Metalferosの民営化

・31日、政府は、Metalferos(使用済金属類を扱う独占企業)の民営化を承認。資本金900百万レイ。同社は複数の汚職や政治介入、マネロン事件の関係で注目されている。

#### 経済協力

#### ▼EUからのマクロ財政支援第2トランシェ20百万ユーロを受領

・17日、政府はEUからのマクロ財政支援第2トランシェ20百万ユーロを受領した。

#### ▼CEB、コロナ対策に70百万ユーロ融資

・20日、政府は、欧州評議会開発銀行(CEB)との間で、コロナ危機緊急対策と中小企業支援に係る70百万ユーロの借款協定に署名することを承認。

#### ▼EUとの1億ユーロの借款協定に署名

・21日、政府は、EUとの間の1億ユーロの借款協定に署名した。50百万ユーロは実施にかかる覚書の署名とともに実行され、残り50百万ユーロは同覚書の履行状況を踏まえて実行される。償還期間は15年、利率は国際市場レートによる。

#### ▼世銀、動物由来製品の輸出関連プロジェクトに15百万ドルの追加支援

・30日、世銀は、EU基準に合致した動物由来副産物の管理制度を確立し、食料安全保障システムを近代化するプロジェクトに15百万ドルの追加支援を決定。

#### 4. 各種統計

#### ▼1～5月の工業生産減少

・20日、国家統計局は、2020年1～5月の工業生産状況を発表。工業総生産は、前年同期比6.9%減。内訳は、鉱業12.8%減、加工業6.4%減、エネルギー関連0.9%減。

#### ▼2020年上半期の海外からの送金

・24日、国立銀行は、6月の海外からの銀行送金が143.2百万米ドルであったと発表(前年同月比42.2%増)。主な送金元は、イスラエル(27.2百万)、ロシア(22百万)、イタリア(20.3百万)。45.6%がEU圏、16.4%がCISから。

・同月の送金額は、過去5.5年で最高となった。増加理由は、国境閉鎖に伴い海外からの仕送りを銀行送金に依存せざるを得なくなったためとされる。

・2020年上半期の海外からの送金総額は、646.2百万米ドル、前年同期比57.7百万ドル増(9.8%増)となった。

#### ▼2020年上半期農業統計

・28日、国家統計局は、2020年上半期の総農業生産は51億レイ(前年同期の97.2%)であったと発表。減少の原因は、天候不順による植物農業の減産(-26.8%)。

#### ▼2019年不動産投資

・31日、国家統計局は、2019年の不動産投資は総額で313億レイとなり、前年比10.2%増となったと発表。

#### ▼2019年中小企業統計

・31日、国家統計局は、中小企業統計を発表。2019年

の中小企業数は 55,900 で、全企業の 98.6%。335,800 人が雇用されており(全体の 61.6%), 売上総額は 1573 億レイ(全体の 39.5%), 平均は 2.813 百万レイ。業種別では、商業(36.3%), 加工業(8.4%), 専門的／技術／科学サービス(8.9%), 農業(7.5%)など。プロジェクトに、15 百万米ドルの追加支援を決定。

## 5. トランスニストリア

### ▼ドドン大統領、クラスノセルスキ「大統領」と会談

・29日、ドドン大統領はクラスノセルスキ「大統領」と会談し、移動の自由、人権、通信、銀行制度等の問題について議論を行った。会談後、クラスノセルスキ「大統領」は、良い対話であったと評価しつつ、あり得べき解決策について議論することができた旨述べた。

(了)